

アジアの子どもたちの 絵日記フェスタ

24 か国・地域の子どものたちの作品展、広島市で開催

主 催

三菱広報委員会 アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟 広島ユネスコ協会
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

日常の生活や家族、学びの風景など通し、相互理解深めるアジア 24 か国・地域の子どものたちの絵日記展・第 13 回「三菱アジア子ども絵日記展 in 広島」が、10 月 23 日（火）から 28 日（日）まで、広島市中区紙屋町シャレオ中央広場で開かれました。

この催しは、1990 年より、2～3 年に 1 回程度の割合で実施されているもので、アジアの国々・地域の 6 歳から 12 歳までの子どもたちが、日常の生活や家族、伝統行事、学びの風景などを絵日記にして描き、鑑賞を通し相互理解の場にしていこうというもの。

今回は 6 万 5000 点の応募作品の中から「グランプリ受賞」24 点が選ばれ、受賞者による共同作品 1 点、広島県内入賞者（日本ユネスコ協会連盟賞受賞）の府中市上下北小学校の黒木碧恵さんの作品と合わせて展示されました。多くの市民が訪れ、じっくり鑑賞していました。

